

背景

社会のグローバル化、金融・経済の高度化



EC拡大、キャッシュレス決済、
SNS、AI、…etc.

金融の動向が人々の生活や社会の安定に大きな
影響を及ぼす時代に



国:社会・経済の急速な変化を背景に社会人
基礎力の向上を重視
都:国際金融人材の育成を重視

今後の商業教育に求められるもの

今後も継承・発展させるべき商業教育の中核的価値

- ・実社会と結び付いたキャリア形成を支える教育
- ・現状や変化を的確に把握し、情報を収集・分析・活用する学習
- ・課題を発見し、倫理観をもって解決策を探究する力を育成

社会経済情勢の変化の中でも、商業教育に求められるもの

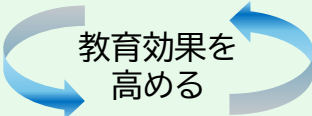
- 社会で活躍するビジネスパーソンに求められる素養の獲得
 - ・国際社会の構造を多面的に捉えること
 - ・国際的な視点の中で自らが果たすべき役割を理解
- 専門性をさらに深めるための高度な学びへの接続

新たな商業教育のフラッグシップ校への改編

社会経済情勢や生徒・保護者の進路ニーズの変化を踏まえ、商業教育の中核的価値を基盤に、
「新たな商業教育の価値を創出するフラッグシップ校」として都立第一商業高校を改編

改編後の第一商業高校のイメージ

国際金融教育



教育効果を
高める

IB教育



商業教育の中核的価値

- ✓商業の専門性と普通科の学びを融合した新たな教育課程を編成
- ✓国際金融を体系的に理解する力の育成を図るとともに、大学等の高度な学びへの円滑な接続を実現
- ✓探究的な学びと国際的な視点を重視する国際バカロレア教育(IB教育)の実施により、国際社会において自ら課題を設定し、主体的に行動できる人材を育成

東京都立第一商業高等学校の改編に関する基本計画 (概要)

改編後の第一商業高校の理念等

【教育理念】

- 多様な価値観を理解・尊重し、複雑化・高度化する課題に対して、倫理的かつ主体的に判断・行動し、国際社会の一員としての自覚を持ちながら他者と協働し解決を図ることのできる人材の育成を目指す。
- そのため、生徒一人一人が、生涯にわたり学び続ける姿勢を身に付け、地域社会、国家、国際社会の持続的発展に貢献することを、本校の教育の基本理念とする。

【育成すべき生徒像】

- 世界の経済的事象や社会課題に対応するため、国際金融に関する専門的な資質・能力を身に付け、自らの希望進路を実現できる生徒
- 国際金融の仕組みや国際社会の課題に関心を持ち、数学的思考に基づき論理的・批評的に考察できる生徒
- 探究活動や課題研究を通して、自ら課題を見つけ、主体的に分析・判断、行動し、粘り強く考え抜く力を有する生徒
- 多様な価値観を尊重し、英語や情報のスキルを活用して他者と協働しながら、自らの考えを発信できる生徒

【教育方針の三つの柱】

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| (1) 探究と知の深化 | — Inquiry & Knowledge |
| (2) 国際的視野と多文化理解 | — International-mindedness |
| (3) 主体性と挑戦 | — Agency & Growth |

【コースごとのカリキュラムの特色】

【グローバル・ファイナンスコース】(仮称)

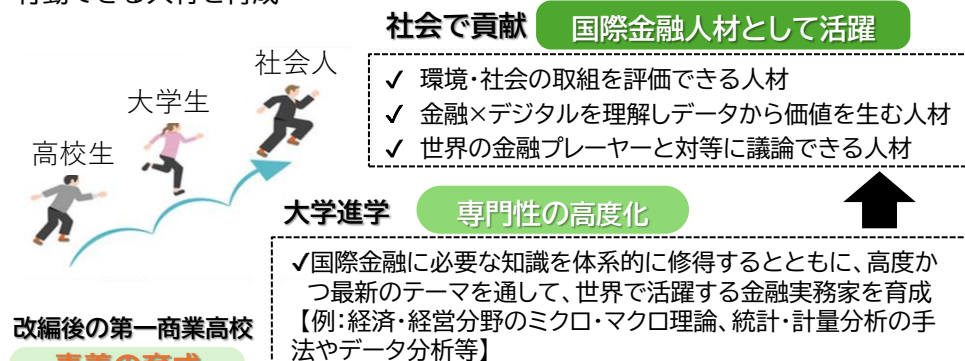
- 文系理系に偏らず、国際金融の理解に必要な教養を重視
- 英語、数学等を「国際金融の学びのツール」として大学進学の見点から強化

【国際バカロレアコース】(仮称)

- 探究中心の学びにより、論理的思考力を育成
- 多様な価値観を理解し、国際社会で様々な人と協働する学習を重視

【グローバル・ファイナンスコース（仮称）における国際金融教育の目指す姿】

金融の仕組みを国際的な視点から理解し、国内外の課題解決に向けて主体的に行動できる人材を育成



改編後の第一商業高校

素養の育成

高校段階で育成する資質・能力

- ✓ 国際金融の仕組みを理解し、データや根拠に基づいて考える力
- ✓ 多様な価値観を尊重し、他者と協働しながら課題解決に取り組む力
- ✓ 探究活動や発表・発信を通じ、自ら進路を切り拓く力
- ✓ ハイレベルな英語に加えて、数学や情報等の知識を活用する力

東京都立第一商業高等学校の改編に関する基本計画（概要）

基本的枠組み

学校名	設置場所や教育内容などを踏まえ、今後検討し決定
設置場所	東京都渋谷区鉢山町8-1
課程・学科・コース	全日制課程 普通科(※) で以下のコースを設置 ① グローバル・ファイナンスコース(仮称) :1学年135人程度 計405人程度 経済を理解するための基礎的知識等を身に付け、国際金融の仕組みを学習 ② 国際バカロレアコース(仮称) :1学年25人程度 計75人程度 日本語による国際バカロレア・ディプロマ・プログラムを実施
学校規模	各学年 4学級 160人 計12学級 生徒数480人の規模を想定
改編予定年度	令和10年度 ※現在のビジネス科については、令和10年度から募集停止

(※) 国際金融に関する専門的な学びは、主として大学段階において本格的に深化が図られる分野であり、高校段階においては、大学での高度な学びへ円滑に接続するための確かな基礎力や、論理的思考力、探究力等を育成することが重要。そのため、今回の改編では、商業教育で培ってきた知見や実践を生かしながら、普通科の枠組みを活用することで、より柔軟でバランスの取れた教育課程を編成することとした。

改編に向けたスケジュール

令和8年度		令和9年度	令和10年度
● 5月28日教育委員会 基本計画(案) 第一商業の改編を公表	● 7月9日 基本計画 策定・公表	● 1月～2月 入学者選抜	● 4月 改編（新入生入学）
パブリックコメントの実施 (5/28～6/26)		改編に向けた具体的検討、受検生等への広報 等	